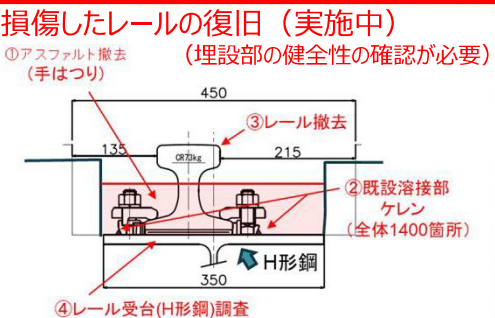


八代港の復旧の進捗と見通し

- 熊本県からの要請を受け、8月3日から国が八代港の岸壁の利用調整や応急復旧等の管理を代行。
- コンテナ岸壁等の残る応急復旧を早期に完了させるため、9月2日に管理の内容を一部変更の上、代行期間を11月末まで延長。
- 応急復旧が完了した施設は国、県等が取りまとめた「復旧方針」を踏まえ、港湾利用に配慮しつつ概ね2年以内の復旧完了を目指す。
- なお、コンテナ岸壁は段階的復旧等により10月中にガントリークレーンによる荷役が再開予定。これにより穀物の輸入、原木の輸出等を含め、八代港の本来の物流機能は概ね復旧する見通し。



存置されたコンテナ下の空洞化調査
損傷したコンテナ流出防止柵の基礎部の復旧 (実施中)

※当初、管理の期間を8月3日から9月2日までとしていたが、熊本県から措置の継続等の要請があったことから、9月2日に管理の内容を一部変更した上で、11月30日まで延長